

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年 5月11日（月）

2 確認箇所

2号機燃料取り出し用構台（図1）

3 確認項目

2号機燃料取り出しに向けた作業訓練の状況

4 確認結果の概要

東京電力では現在、福島第一原子力発電所2号機において、使用済燃料プールからの燃料取り出しに向けた準備が進められている。

今回、2号機燃料取り出し用構台^{※1}に設置されている燃料取扱設備^{※2}を遠隔操作により原子炉建屋内の使用済燃料プールに移動させ、プール内の燃料を取り出すための作業訓練の状況を確認した。（前回確認：令和8年2月20日）（写真1）

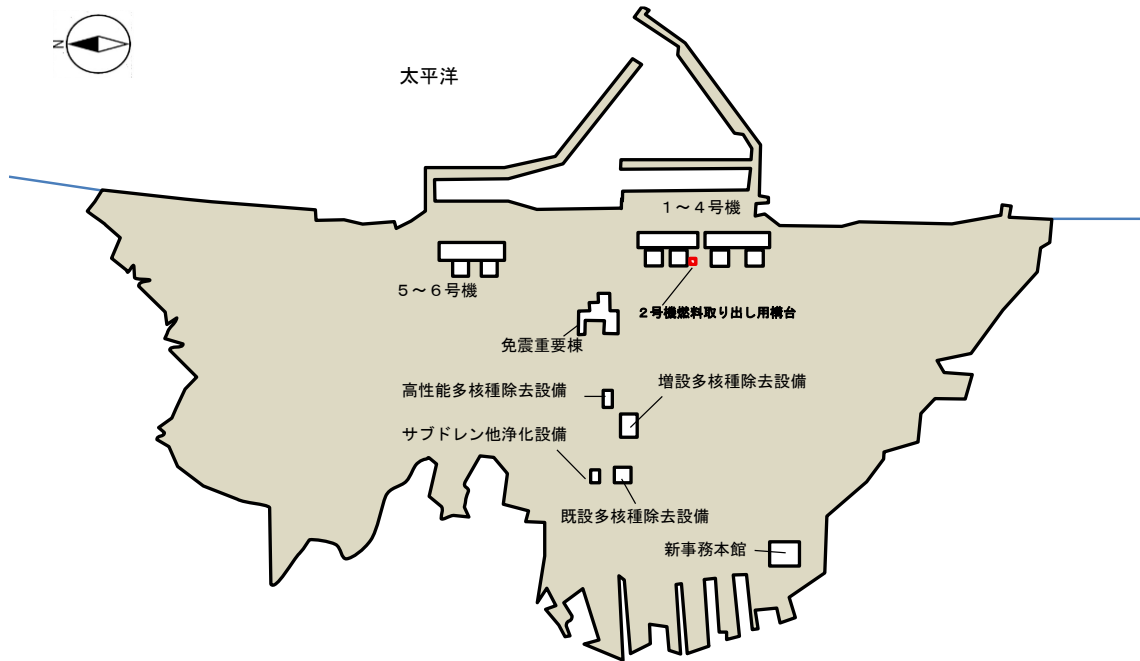
- 燃料取り出し用構台（最上階）の現地確認時には、走行台車に載せられた燃料取扱設備の現場作業員による目視点検のほか、遠隔操作による原子炉建屋内への移動作業が行われていた。（写真2）
- 原子炉建屋内への設備移動にあたっては、原子炉建屋内からの放射性物質の流入を防ぐための措置として、走行台車を含めた設備全体と原子炉建屋内の開口部を汚染拡大防止ハウスで覆っていた。（写真3）
- 設備移動時には現場作業員と遠隔操作室の作業員との間で確認を行いながら慎重に作業が進められていた。
- その後、遠隔操作室の現地確認時には、原子炉建屋内に移動した燃料取扱設備を用いたキャスク取扱訓練が行われており、一つ一つの工程について確認を行いながら慎重に作業が進められていた。
- 東京電力によれば、本年度第1四半期からの使用済燃料取り出しに向け、現時点で作業は順調に進んでいるとのことであった。

※1 燃料取り出し用構台

使用済燃料プールに保管されている燃料の取り出し作業を行うため、原子炉建屋南側に隣接する位置に設置した構造物。

※2 燃料取扱設備

燃料取扱設備は、走行台車、キャスクを吊り上げるためのクレーン、燃料を取り扱う燃料取扱機及びキャスクの蓋を吊り上げるジブクレーンで構成されている。燃料の取り出しは、①空のキャスクを使用済燃料プールへ移動、②キャスクの蓋を開放、③燃料をキャスクに装填、④キャスクの蓋を閉じる、⑤キャスクを燃料取り出し用構台へ移動の順で実施される。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 燃料取り出し用構台外観



(写真2①) 燃料取扱設備の設置状況



(写真2②) 訓練前の設備点検状況



(写真3) 設備への汚染拡大防止ハウス設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

確認したデータについて、異常値は確認されなかった。